



ネパール・ミカの会

No. 4号 1998・5・8発行

〒194-0213 東京都町田市常盤町 3196

世羅美庵内ネパール・ミカの会 ☎ 0427-98-0046

ネパール・ミカの会

会長 斎藤謙也

2月中旬、ネパール旅行から帰ってくると、すぐに報告書「夢の記」No. 2の原稿書き、3月例会（3月21日）、4月4日5日の桜祭りの準備と出店、4月例会と続き、休むひまなく、5月総会準備におわれています。ネパール・ミカの会が「ゆっくり、ささやかに」とうたっている割には、日々の生活の中に大きな位置をますます占めるようになったのは、活動していただける会員皆様の共通のおもいかと存じます。

よく、会報に載せられた他のN・G・O団体の総会風景の写真をみますと、参加者が十数名というものが多く、それほど数ではありません。

ネパール・ミカの会の毎月の例会（会場 こもれば堂2Fホール）に集う方々は、25名位。催し物などの参加者は、ソロプチミスト町田一さつきの有志の方々を含めて100名近くにもなるでしょう。かまえず、気楽に、できる時にとおもっているのがよいかもしれません。

年一回の旅行。それに伴う支援バザー等の活動のはずが、次々に輪が広がって、活動が途切れる事はありません。それは、集まってくださる方々の善意、誠意のせいかと思えます。又、職種や家庭環境、年齢構成等が実に多様で変化にとんでおり、人の話しを聞くだけでも楽しく時を忘れるようであり、まるでネパールのようであるからかもしれません。

ネパールには、ヒマラヤの峰々から平地まで変化のある国土ですが、そのネパールの家というべきヒマラヤに比すべき人として、ネパール特命全権大使マティマ氏その人がいると実感しました。桜祭りにご夫妻そろって来ていただけた事は、ミカの会にとって特筆に値する事と存じます。語られる一言一言が、聞く我々の胸をうちます。

「日本の文化は、一つ一つの事を実に、丁寧に、相手の事を考えて準備します。その思いやりの文化が、日本の経済や文化等の発展に大きな力を発揮しています」

（茶道香道会場で）

「隠れたところにも、力を抜かず、思慮、配慮をゆきとどかせる事が大切です」

（庭の石組をみて）

ネパールは、素晴らしい大使を派遣しているのだという事は、お世話し、同席した人の思いでした。

今後とも、日本とネパールとの友好に、自然に、かまえず、人間らしい交流を続けたいものと思えます。

是非、総会（5月16日(土) 市民ホール）にお集まりいただき強いキズナを深めようではありませんか。



がんばれ ミカの会

本年3月のネパール訪問、4月さくら祭り大きな成果を挙げることが出来本当に嬉しく思います。

特に晴天に恵まれたさくら祭りにはネパール全権大使ご夫妻をお招きする事ができ、今後のミカの会の活動に大きな力を与えて頂ける事と思います。

昨年、高血圧のため狭心症を起こし通院中のため、今回ネパールに行けず本当に申し訳ございませんでした。

私は斉藤会長の協力でも力になればと参加したのですが足をひっぱってばかりで、副会長として大変恐縮しています。

日頃、世界でもっとも物質的に恵まれている日本で生活している私たちはもう少し謙虚に消費や、資源の無駄使いに気を遣い、

国際社会での役割を荷なわなければなりません。いろいろな方法がありますが、継続的、効率的な援助が必要です。

不幸にも日本は厳しい不景気にあり、お金や時間の多くを援助に向けることは難しい状況にあります。

その中でより効率的に援助するミカの会はその行動力と強い意思を持ち、これからもネパールの教育に欠かせない存在となるでしょう。

仕事や、他の団体に参加していると、多くの善意ある方がどのように国際社会での日本の役割をはたしたらよいか、具体的に発見出来ずにいます。あまり大袈裟でなく、出来る範囲での援助ですと説明するとほとんどの方が理解してくれます。

8月には昨年と同じようにネパール支援のチャリティーポリンゴ大会を開催しますので奮ってご参加下さい。この大会はジャスコスペースレーンの仲間達が少しでも協力出来ればと開催してくれました。昨年は130名の参加で約20万の寄付を頂きました。

私は思います、人間としての喜びは自分の行動が他の人に喜んでもらえることにあります。



ほんの少しの善意、お金が具体的な援助、学校の修理、建設に繋がります。そこには笑顔の少年、少女が勉強しています。将来のネパールを担う子供たちです。子供達に進学の手助けをしてあげる奨学金の制度も検討中です。

会員の皆様、是非ふれあう全ての方に声をかけ、活動の和を拡げて行きましょう。

楽しく、和やかに、そして真摯にありたいものです。

副会長 加藤誠一

ミカの会二年目を迎えて

副会長 高原 担

早いものでミカの会結成から一年が過ぎ、二年目に入りました。最初はネパールに行ったグループの印象が良かったので、とにかく会として続けて行こうというのが始まりだったような気がします。一年過ぎてふり返ると更にいい会になったような気がします。

ボランティアの会というのは、何か社会に役立ちたいという人の集まりなので、こんな気持ちのいい集まりは他にないように思います。

バザーの時、サクラまつりの時、みんな、それぞれ、できる範囲で手伝い、協力し、会全体のまとまり、雰囲気、だんだんよくなってきているようです。私は四国の徳島の生まれで、小さい頃から四国八十八カ所巡りのお遍路さんに接していました。春先になると、近くの寺の門前で接待所が作られ、お茶、お菓子、少しのお金、などお遍路さんにあげていました。現在のボランティア活動に似ています。

四国遍路のボランティアは、参加している人たちも、ボランティアさせてもらっているという気持ちが強く、してあげている、という気持ちはないようです。

ミカの会が発展するというより、よりいい会になることを願っています。



さくら祭り会場にて（マティマ・ネパール大使夫妻）



ミカの会 報告展

5月16日(土)～23日(土)

AM 10:00～PM 8:00

*初日16日(土)と最終日23日(土)は
PM 6:00 までとさせていただきます。

— 会場 — 高原書店 読者サロン

〒194-0022 町田市森野 1-37-1 ☎ 0427-25-7554

ネパール・ミカの会 第2回総会

*日時 5月16日(土) PM2:00～PM4:00

*会場 町田市民ホール 第一会議室

*会員の方は、ぜひ御参加下さい。

夢の下書き

五月四日、突然ラマ君から電話がはまりました。かねてよりたのんでおいた、ネパールでのNGO支援団体として(現地代表:ヌルプ・ラマ)政府の認可が得られたとの事です。まだ現地事務所などありませんが、ミカ・ソサイティ・ネパールという名称です。

今後のラマ君の活動に大きく役に立つと思います。

またミカの会のできるきっかけとなった旅行でお世話になったモチイ君が五月十七日に上京するとの事です。十八日以後の報告展に顔を出すはずですので、総会ともども報告展にも御参加下さい。
(事務局)